

「令和5年度 県央地区かながわ子どもスマイルウェーブ地域フォーラム in あやせ」にて
デイサービスセンターと本校との世代間交流を、生徒が発表しました。

11月3日（金）綾瀬市オーエンス文化会館小ホールにて、標記のフォーラムが開催されました。この催しは、いじめや暴力行為等のない安全・安心で元気な学校づくりに向けた取組について、各立場から報告しあうことを通して、縦（世代連携）・横（地域連携）のつながりをさらに強め、県央地区における子どもの健全育成に向けた一層の推進と取組の充実に資することを目的として行われるものです。

本校からは、『「交わる・関わる」綾西生とデイサービスセンターの世代間交流』というタイトルで、福祉委員長の谷尾恵理香さん（3年生）が発表を行いました。そもそも、なぜ本校の敷地にデイサービスセンターが併設されているのか、その経緯や本校生徒との交流の様様を、パワーポイントを使って約15分間発表しました。



一口に本校生徒とデイサービスセンターとの世代間交流といっても、①部活動での交流、②授業での交流、③行事での交流など、様々な関わり方があります。

例えば、①部活動については、華道部が月に1回程度、デイサービスセンターに作品を展示しています。また②授業では、「福祉実習」のなかで、レクリエーションを通してデイサービスセンター利用者の方々とふれあう取組を行っています。③行事では、文化祭で福祉委員が利用者の方々を案内しています。また、デイサービスセンターの七夕会にアドバンスタイムの受講者が出向いて、レクリエーションを企画・実施しました。おかげさまで、デイサービスセンターの利用者の皆様から好評を博しています。今後は、デイサービスセンターの行事クリスマス会に、合唱部やボランティア部が参加することも予定されています。

この発表を通して、綾瀬西高等学校の特色と魅力が、地域の皆様にもしっかりと伝わったように感じました。

また、このフォーラムでは、同じ綾瀬市内にある綾瀬高等学校が、隣接する寺尾小学校との交流について発表したほか、綾瀬市内の中学校5校が、ピンクシャツデー・いじめ撲滅、あいさつ運動等の取組について発表しております。また、市内小学校のスライドショーやミニあやせの取組の発表もあり、盛りだくさんの内容でした。さらに市内小学校元校長である鈴木 弘之氏から「桜梅桃李～みんなちがってみんないい～」というテーマで講演して頂きました、会場となった270席の文化会館小ホールは、ほぼ満席であり、大盛況でした。

なお、このフォーラムの最初から最後まで司会進行をしたのが、本校の放送部員、寺島輪之助さん（3年生）、山浦祥汰さん（3年生）、長谷川想花さん（1年生）です。城山中学校放送委員会のお二人の生徒と連携して、円滑な進行に貢献するとともに、会を盛り上げる役割を果たしました。本当にお疲れ様でした。

